

小松を舞台にしたドラマ  
いよいよ放送!

10月31日(水)  
21時~

NHK BSプレミアム

あらすじ

今年も曳山子供歌舞伎の季節がやってきて、町を挙げてのお祭りムードが高まる中、歌舞伎の稽古をつける師匠が突然倒れるというハプニング! 上演中止に追い込まれたかと思っただけ、謎の男が現れて…。子供歌舞伎をめぐる心温まるコメディードラマです。



▲ドラマのワンシーン



**清水瑠香役 宮田悠衣さん(小学4年)**  
歌舞伎が大好きで、昨年、龍助町の曳山子供歌舞伎にも出演しました。声の大きさや出し方など、その時の経験を生かすことができました。たくさんの方にドラマを見てもらい、小松の子供歌舞伎のことを知ってほしいです。

問い合わせ 観光文化課 ☎24・8130

**児玉茜役 喜多陽菜さん(小学3年)**  
同じシーンを何度も撮って大変だったけど、「スタート」の音が掛かると「始まるぞ、頑張ろう」とわくわくしました。休憩時間に役者やスタッフの皆さんと話すのが楽しかったです。エキストラのお父さんとの共演も見てください。

出演者インタビュー

地元の人たちもドラマに登場します  
市民エキストラの皆さん、撮影にご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。



# 「気付き」が守る大切ないのち

気付いていますか? あなたのまわりの異変、あなた自身の異変

問い合わせ あんしん相談センター ☎24・8070

自分からSOSを発することが難しい…  
自分がSOSを発する状況に陥っていることを自覚していない…  
そんな時、あなたの「気付き」が大切ないのちを守る第一につながります。

心身を深く傷つけ、  
時には命を奪う「虐待」

「虐待」には、①身体的(殴る、蹴る)、②精神的(暴言、束縛、無視)、③ネグレクト(養育や介護の放棄・怠慢)、④経済的(お金をくれない、搾取する)、⑤性的(性行為の強要、ポルノ雑誌などを無理に見せる)などがあります。

「私は大丈夫」は  
本当に大丈夫?

被害者側が自分の置かれた状況を自覚していない、加害者側が自分の行為を暴力だと思っていない、というケースも見られます。

○妻から夫への罵倒や暴力

「女性が男性をたたいても虐待ではない」というわけではありません。虐待は性別を問いません。

○親の年金の使い込み、親に必要な支援を受けさせない

「いくつになっても親は子の面倒を見るべき」親の年金は世話をしている自分が自由に使っても構わない」というのは誤りです。

○配偶者や恋人に対しての行動の監視・制限  
「相手のことは何でも知る権利がある」「愛があるのだから何でも許される」というわけではありません。  
○子供の前で配偶者に暴力を振るう  
「子供には何もしていないのだから子供への虐待はない」というのは誤りです。

気付いたら  
早めの相談・連絡を!

虐待は、家庭や施設など閉ざされた空間で起こるため発見が遅れることが多くあります。また、近い人との問題として誰かに相談することを避ける人も少なくありません。早く気付いて支援につなげることが重要です。



相談・情報提供窓口一覧 匿名でも可。秘密は守られます。

分野	相談先	電話番号
児童虐待・子育ての悩み	こども家庭課 児童相談所全国共通ダイヤル(近くの児童相談所につながります)	24・8073 189(いちはやく)
DV・性暴力	あんしん相談センター	24・8178
障がい者虐待	ふれあい福祉課 耳の不自由な人専用: shougaisya-gyakutai@docomo.ne.jp	24・8182
高齢者・介護	長寿介護課	24・8168
こころの健康	いきいき健康課	24・8161
緊急時	小松警察署	24・0110

## ◆虐待等防止キャンペーン

とき 10月29日(月)~11月2日(金)  
ところ 市役所1階エントランスホール  
内容 オープニング式(29日10時~)、パネル展

## ◆街頭キャンペーン

とき 11月3日(土・祝)10時~(1時間程度)  
ところ イオンモール新小松  
内容 児童虐待やDV、障がいを理由とする差別と虐待の防止を呼びかけます。